



日本共産党千代田地区委員会
都政対策委員長、暮らし・雇用相談室長



牛尾こうじろうの 「ほっと通信」

09年6月14日 第4号

ホームページ：「日本共産党牛尾こうじろう」で検索
Eメール：mo-ushi1971@nifty.com

住所：千代田区岩本町1-12-12-301 : 090-2406-7991
事務所：千代田区神田神保町1-40 : 3294-8411

都議会を傍聴しました

やっぱり！都民の税金は 福祉、くらしにこそ

六月二日、第二回都議会定例会での共産党の河野ゆりえ都議の代表質問傍聴へいってきました。

河野都議は、石原都政が十年間で、高齢者の医療費助成など高齢者福祉の切り捨てをすすめたことへの批判をおこないました。

私が同じく傍聴した三月の議会で、石原都知事は、「日本ほど高福祉・低負担の国はない」と答弁



75歳以上の医療費の無料化を求める宣伝（10日）

しています。河野さんは、予算に占める高齢者福祉費の割合が全国四七位になっていることや、都内の生活保護を受けている高齢者八〇〇人が都内外の劣悪な老人施設に入らざるを得ないことを指摘して、石原知事の発言を批判しました。

そのうえで、七五歳以上の医療費無料化に東京都が踏み出すよう提案しました。

石原都知事は、まともな答弁ができず、医療費助成も拒否という冷たい態度をとりました。

議会は、五日の本会議で、建設費が1m一億円と言われている東京外かく環状道路の用地買収に踏み出す補正予算を自民党、公明党、民主党などの賛成多数で可決し、閉会しました。



あきれてものが言えません

二日の都議会、河野さんの質問の前、ある与党議員の質問も聞きました。しかし、これが都議会議員なのか？という質問。

区民のみなさんが求め、共産党も何回も質問してやっと実現した、「子ども医療費の助成」の拡充について「自分たちが推進したかのような選挙目的のデマ宣伝をおこなっている」と質問。石原知事も「きわめて遺憾。よくやる手ですな」と答弁するなど選挙を目の前に共産党攻撃です。

この都議は、福祉切り捨てでも新銀行問題でも共産党への攻撃に終始しました。

都民の要求にどう都政がこたえていくのか議論する場のはずなのに呆れてものが言えませんでした。

こうした人たちに都政を議論しあってほしくないと思いました。



日比谷公園で(3日)

あれやこれや!
牛尾こうじろうの
これが言いたい!



若者の雇用を守るためにも社会保障削減路線はやめるべき

三日の昼休み、青年後援会のみなさんが日比谷公園で「ランチタイムアンケート」宣伝をおこなうということなので参加しました。アンケートでは働く青年の

みなさんの政治への満足度や関心があること、政治家に託したいことなどを聞きました。「政治には期待していない。どこがやっても同じかな」という青年。「憲法を守つてくれる政治家に投票します」という女性など様々な意見がありました。なかには、「共産党は見えないし分からない」という声も・・・。

そうしたなか、アンケートに答えてくれた二十八歳の契約社員の女性、少し元気がありません。話を聞くと契約社員の前は介護の正規職員をしていたそうです。重労働の割に収入が少なくやむなく辞めたとのこと。「仕事量に見合う収入があれば続けたかったです」と言っていました。

国の社会保障費削減路線のために、介護保険の国の支出割合が減らされ、それが介護職員の低賃金につながっています。介護分野で労働者が定着しない大きな理由のひとつです。日比谷公園で対話になつ

た女性は「人から感謝される仕事でやりがいがありました」と言っていました。

こうした青年が安心して働き続けられるために国の社会保障削減路線は考えなおすべきです。



核兵器の廃絶へ力を合
わせましょう

お茶の水・秋葉原9条の会の皆さんと一緒に核廃絶を求める署名行動をおこないました。お年寄りから高校生まで幅広い方が署名に協力してくれました。



御茶ノ水駅頭で(9日)

日本経済の支え!
中小企業をまもろう

日本共産党「中小企業政策」を発表しました。

この間の景気悪化で中小企業の営業は本当に大変になつていていると思います。

私も、この間区内の業者の方からお話をうかがっています。

「一銭単位で単価計算している」「客足が減つて大変だ」など、営業の大変さを訴えられました。

東京都の事業所数の99%を超える中小企業は、まさに地域コミュニティづくりやモノづくりなど東京経済を支えています。

この大変な時だからこそ、中小企業に手厚い援助をおこなうべきです。

ぜひ、中小企業政策をお読みください。ご連絡頂ければお届けします。